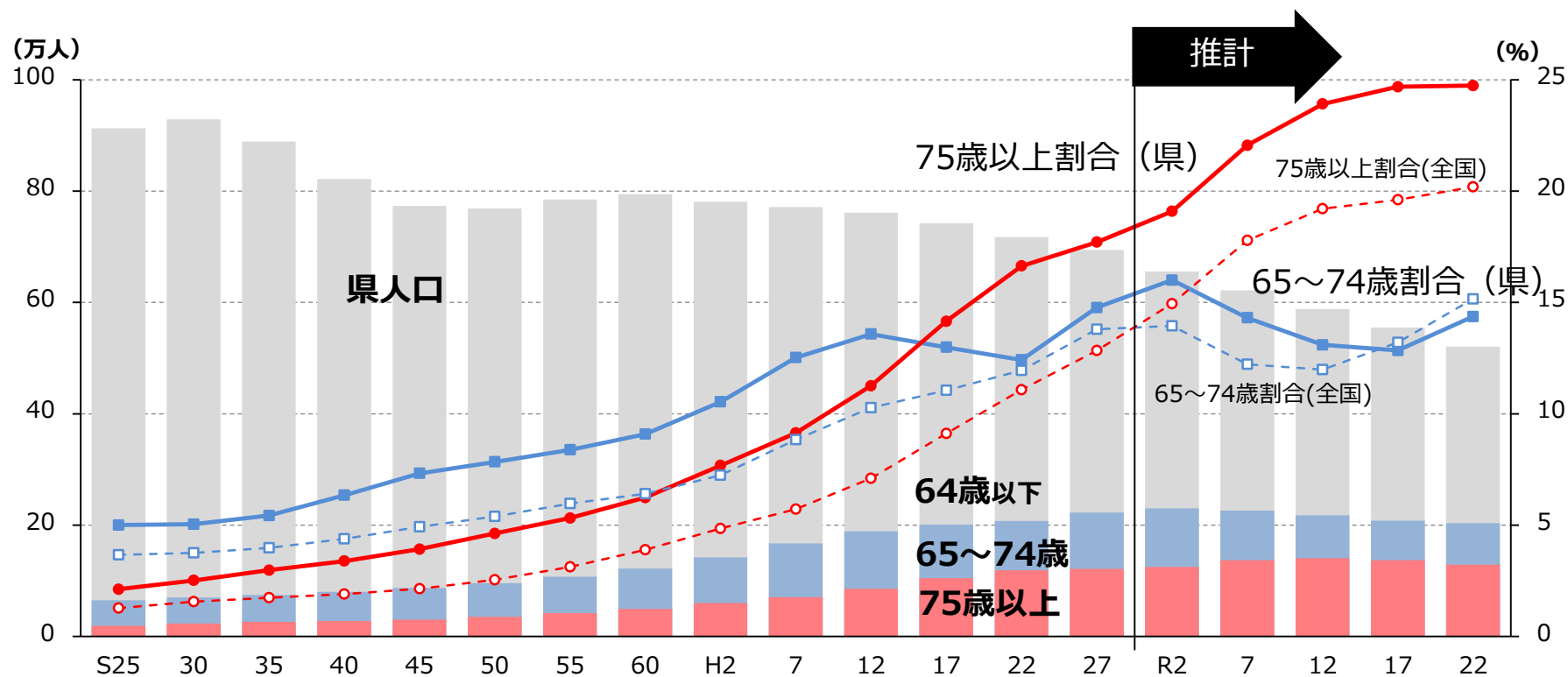


令和4年度 市町村等認知症施策担当者会

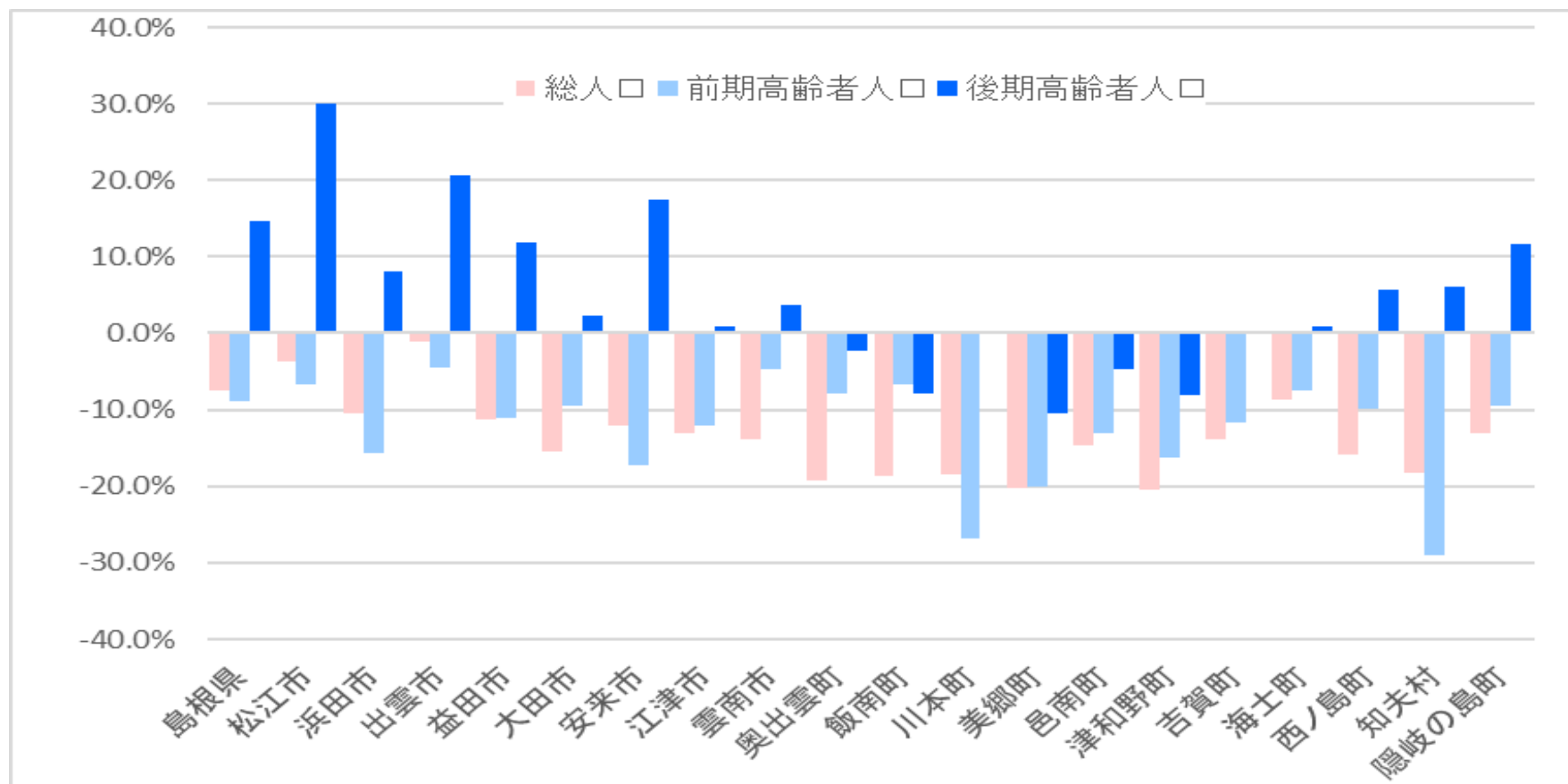
島根県における認知症施策について

島根県高齢者福祉課
地域包括ケア推進室

- 1 島根県の認知症高齢者
- 2 認知症施策推進大綱
- 3 島根県の認知症施策
- 4 認知症の人や家族の視点を重視した総合的な推進体制
- 5 認知症についての普及啓発
- 6 認知症の方を支える地域づくり
- 7 認知症についての相談対応
- 8 医療・介護の連携体制の整備
- 9 認知症介護サービスの向上
- 10 若年性認知症への対応



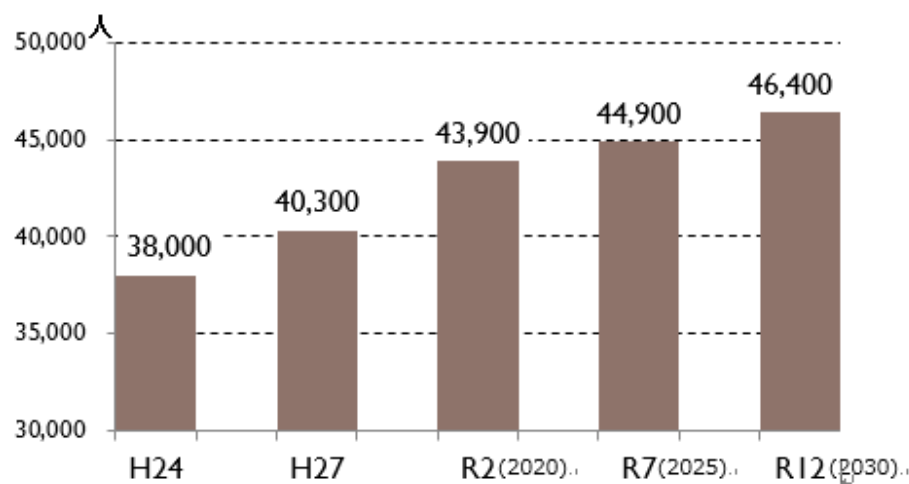
- ・ 今後も県人口は減少するが、65歳以上の高齢者数は横ばいで推移
- ・ 前期高齢者（65～74歳）人口は、令和2年度をピークに減少に転ずる
- ・ 後期高齢者（75歳以上）人口は、令和7年度まで増加する見込



- ・ 県内の全市町村で総人口は減少
- ・ 奥出雲、飯南、美郷、邑南、津和野は後期高齢者人口も減少

3 島根県の認知症高齢者数（推計）

2025年には
44,900人



- ・ 2020年は43,900人、2025年には44,900人に増加する見込み
※ 国の推計方法を参考に推計した場合

1 普及啓発・本人発信支援

- ①認知症に関する理解促進
- ②相談先の周知
- ③認知症の人本人からの発信支援

2 予防

- ①認知症予防に資する可能性のある活動の推進
- ②予防に関するエビデンスの収集の推進
- ③民間の商品やサービスの評価・認証の仕組みの検討

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- ①早期発見・早期対応、医療体制の整備
- ②医療従事者等の認知症対応力向上の促進
- ③介護サービス基盤整備・介護人材確保・介護従事者の認知症対応力向上の促進
- ④医療・介護の手法の普及・開発
- ⑤認知症の人の介護者の負担軽減の推進

4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ①「認知症バリアフリー」の推進
- ②若年性認知症の人への支援
- ③社会参加支援

5 研究開発・産業促進・国際展開

- ①認知症の予防、診断、治療、ケア等のための研究
- ②研究基盤の構築
- ③産業促進・国際展開

認知症の人や家族の視点の重視

- ・ 2019年には「認知症施策推進大綱」が関係閣僚会議で取りまとめられた
- ・ 認知症基本法案が国会に提出され審議中

1 第8期 島根県老人福祉計画・介護保険事業支援計画

- ◎ 認知症の人や家族の視点を重視した総合的な推進体制
- ◎ 認知症についての普及啓発
- ◎ 認知症の方を支える地域づくり
- ◎ 認知症についての相談対応
- ◎ 医療・介護の連携体制の整備
- ◎ 認知症介護サービスの向上
- ◎ 若年性認知症への対応

・ 目標：「認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる」

	市町村（地域での支援体制）	県（広域的な支援体制）
普及啓発	- 認知症サポーター養成講座 - 地域での普及啓発活動	- キャラバン・メイト養成講座 - 全県的な普及啓発活動
地域づくり	- 地域での支援体制の整備 （行方不明者対応、認知症カフェ、 チームオレンジ等） - 成年後見制度の活用支援 （市民後見人の育成・支援）	各市町村の取組情報の収集・発信
相談対応	地域包括支援センター	- 認知症コールセンター - 保健所（こころの健康相談）
医療・介護連携	- 認知症ケアパスの作成、活用 - 医療・介護従事者の相互理解 - 地域での連携体制の構築 - 認知症サポート医の活用 - 初期集中支援チーム - 認知症地域支援推進員	- かかりつけ医、歯科医師、薬剤師、看護職員及び病院勤務の医療従事者の認知症対応力向上研修 - 広域的な連携支援 - 認知症サポート医の養成・支援 - 認知症疾患医療センターの運営
介護サービス	- 認知症介護の質の向上 - 地域密着型サービスの指導等	- 認知症介護従事者研修 - 地域密着型サービス開設者等研修
若年性認知症	若年性認知症の相談・支援	- 若年性認知症相談窓口の設置 - 支援コーディネーターの配置

2 島根県認知症施策検討委員会

分野	団体・役職
医療	島根県医師会
	エスポアール出雲クリニック院長
	しまね認知症疾患医療センター（基幹型）センター長
介護サービス 事業者	島根県老人保健施設協会
	島根県老人福祉施設協議会
	しまね小規模ケア連絡会
地域ケア・拠点	島根県地域包括支援センター連絡会
	島根県認知症介護指導者連絡会
	島根県介護支援専門員協会
家族	認知症の人と家族の会島根県支部 代表世話人
権利擁護	島根県弁護士会
交通	島根県旅客自動車協会
教育	島根県福祉科高等学校長会
警察	島根県警察本部 交通部 運転免許課
	島根県警察本部 生活安全部 少年女性対策課
保健所	島根県保健所長会

3 市町村等認知症施策担当者会

目的

県内の認知症に関する取組がより効果的に展開されるよう、最新情報や先進事例等を共有することで、認知症施策の推進に向けた意見交換・検討の場を提供する。

対象者

- 市町村及び介護保険者の認知症施策担当者
- 市町村の認知症地域支援推進員
- 保健所の認知症施策担当者
- 認知症疾患医療センター担当者
- 認知症の人と家族の会島根県支部担当者 …等

内容

- 行政説明・共有
- 最新情報・先進事例の共有
- 意見交換 …等

1 認知症サポーター養成

認知症サポーターキャラバン事業

「痴呆」→「認知症」への変更を契機に2004年からスタート。
「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す。

認知症サポーター

「認知症サポーター養成講座」を受講した、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して、できる範囲での手助けをする人。

キャラバン・メイト

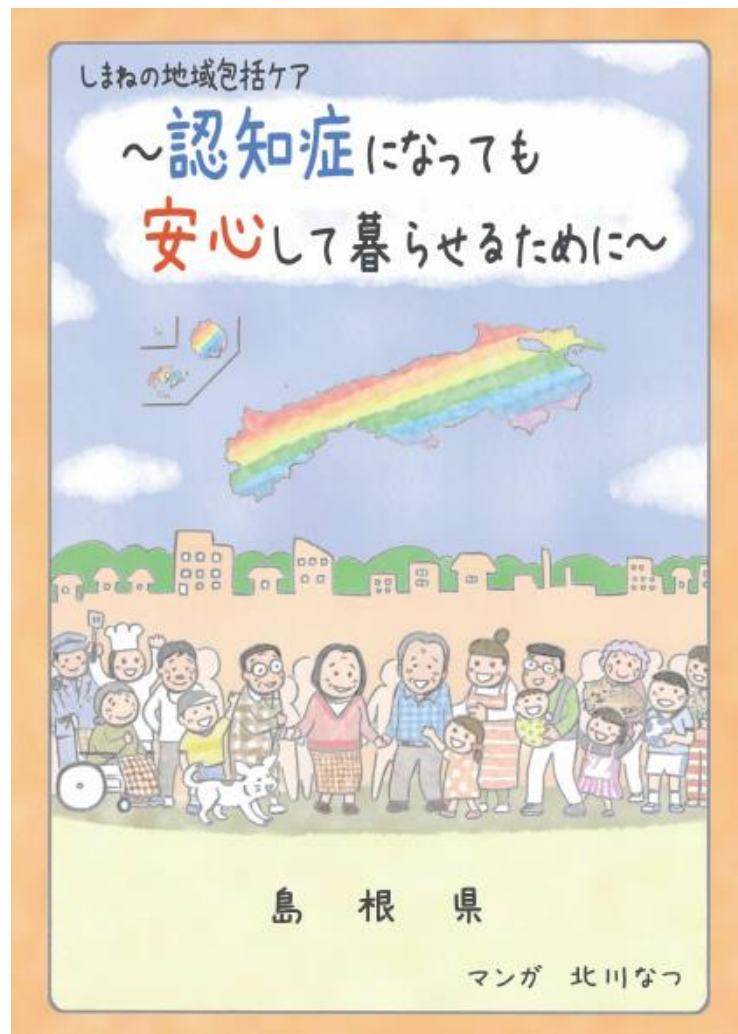
「キャラバン・メイト養成研修」を修了した、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務めることのできる人。

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
認知症サポーター	73,016	81,522	87,125	90,547	93,395
キャラバン・メイト	1,722	1,533	1,592	1,609	1,572
計	74,738	83,055	88,717	92,156	94,967
非活動メイト	930	784	814	827	825

資料：全国キャラバン・メイト連絡協議会（各年度末現在）

5 認知症についての普及啓発

2 動画・マンガ



3 世界アルツハイマー月間

認知症に関する図書展示

島根県立図書館の展示スペースを活用し、認知症関連の書籍やチラシ等の啓発物を展示。



島根県

5日前

＼9月は世界アルツハイマー月間です／
本日から島根県立図書館にて、認知症に関する
図書やパネル等を展示します！... もっと見る



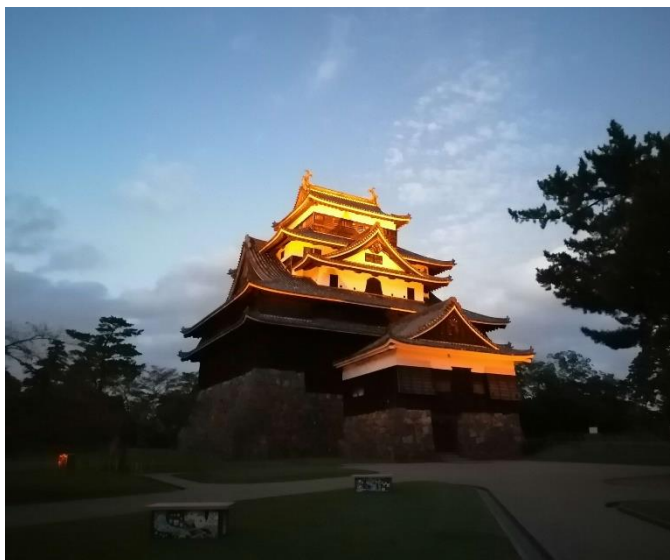
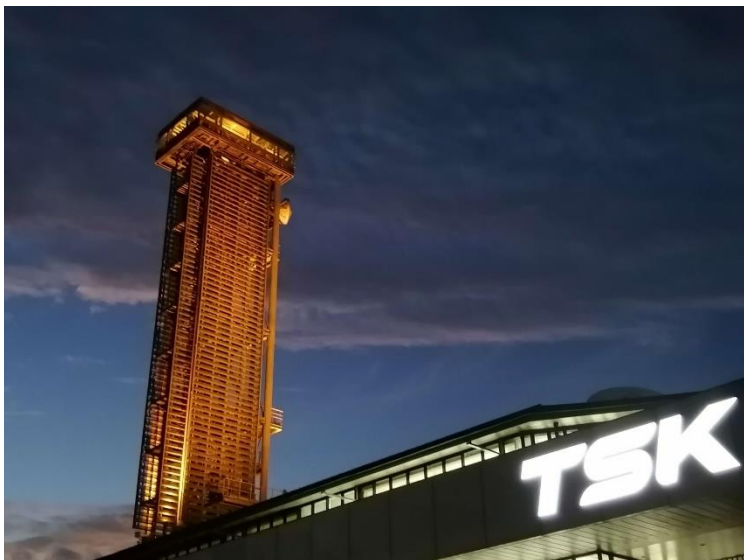
エアKさん、他46人

シェア6件

3 世界アルツハイマー月間

オレンジライトアップ企画
(主催：公益財団法人認知症の人と家族の会島根県支部)

世界アルツハイマーデーにあわせて、松江城、TSK本社テレビ塔、グラントワを認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップ。



県内の取組（R 4 年度）

都道府県	県市区町	実施期間・日	実施内容	実施事項の具体的内容(テーマ・開催場所等)	担当部署名
1 島根県	島根県	9月1日	広報誌掲載	山陰中央新報掲載	島根県高齢者福祉課地域包括ケア推進室
2 島根県	安来市	9月1日	認知症カフェ	オレンジカフェ	介護保険課地域包括支援センター
3 島根県	松江市	9月1日～30日	ポスター掲示・懸垂幕・のぼり旗	松江市役所庁内、包括支援センターにアルツハイマーデーのポスター掲示およびリーフレット配布	松江市介護保険課介護予防係
4 島根県	松江市	9月1日～30日	ポスター掲示・懸垂幕・のぼり旗	認知症専門医療機関及びサポート医在籍医院にてポスター掲示・リーフレット配布(設置)	認知症のひと家族の会島根県支部(松江地区)、 松江市介護保険課介護予防係
5 島根県	大田市	9月1日～29日	図書館の活用	「認知症を知って」パネル展 認知症の人のメッセージや作品も展示(大田市立仁摩図書館)	大田市地域包括支援センター
6 島根県	島根県	9月2日～10月5日	図書館の活用	認知症に関する図書展示(島根県立図書館)	島根県高齢者福祉課地域包括ケア推進室
7 島根県	島根県	9月2日	テレビ・ラジオ	日本海テレビ「しまね家の回覧版」	島根県高齢者福祉課地域包括ケア推進室
8 島根県	美郷町	9月5日	その他	事業所健診受診者のうち、希望した人へ脳の健康度チェックを実施	美郷町健康福祉課
9 島根県	出雲市	9月5日～30日	展示	特設パネル展示・横断幕掲出	認知症のひと家族の会島根県支部(出雲地区)、 出雲市医療介護連携課
10 島根県	島根県	9月8日、9日	テレビ・ラジオ	山陰放送ラジオ、エフエム山陰	島根県高齢者福祉課地域包括ケア推進室
11 島根県	浜田市	9月9日～22日	展示	ポスター掲示等 (浜田市役所本庁舎1F市民ロビー)	浜田市健康医療対策課 高齢者福祉係
12 島根県	奥出雲町	9月12日～26日	図書館の活用	認知症について知ってもらうためにパンフレット、チラシなど展示・配布	奥出雲町 地域包括支援センター
13 島根県	安来市	9月13日	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座	介護保険課 地域包括支援センター
14 島根県	安来市	9月16日	相談会・体験会・交流会	本人交流会	介護保険課 地域包括支援センター
15 島根県	雲南市	9月16日～30日	ポスター掲示・懸垂幕・のぼり旗	懸垂幕設置 (雲南市庁舎前)	雲南市長寿障がい福祉課 保健医療介護連携室
16 島根県	松江市	9月16日～29日	図書館の活用	認知症関連の特設コーナー設置及びパンフレットポスター展示	松江市介護保険課 介護予防係
17 島根県	西ノ島町	9月16日～31日	ポスター掲示	図書館にてアルツハイマー月間啓発の掲示、書籍・認知症ケアパス・介護保険ガイドブックの紹介	西ノ島町 地域包括支援センター
18 島根県	松江市	9月17日、他	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症のひと家族の会島根県支部
19 島根県	浜田市	9月17日	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症のひと家族の会島根県支部
20 島根県	出雲市	9月17日、20日	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症のひと家族の会島根県支部

県内の取組（R 4 年度）

	都道府県	県市区町村	実施期間・日	実施内容	実施事項の具体的内容（テーマ・開催場所等）	担当部署名
21	島根県	出雲市	9月17日	RUN伴	一畑電車広告ジャック・リーフレット配布	RUN伴しまね実行委員会（出雲エリア）
22	島根県	出雲市	9月18日	講演会・研修	世界アルツハイマーデー記念講演会 「若年性認知症の妻との日々～ささえる仕組みと家族の声～」	認知症の人と家族の会島根県支部
23	島根県	大田市	9月19日	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症の人と家族の会島根県支部
24	島根県	出雲市	9月20日	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症の人と家族の会島根県支部
25	島根県	松江市	9月20日、21日	ライトアップ・オレンジリングドレス アップ・ガーデニング	「国宝松江城」のライトアップ	認知症の人と家族の会島根県支部
26	島根県	松江市	9月21日	ライトアップ・オレンジリングドレス アップ・ガーデニング	「TSK本社テレビ塔」のライトアップ	認知症の人と家族の会島根県支部
27	島根県	松江市	9月21日	認知症カフェ	参加者に認知症の理解を深めるためのリーフレットを配布	松江市介護保険課介護予防係
28	島根県	大田市	9月21日	認知症サポーター養成講座	「認知症サポーター養成講座」の開催 時間：13時半～15時、場所：大田市民センター2階	大田市地域包括支援センター
29	島根県	江津市	9月21日	認知症サポーター養成講座	新規採用職員の認知症についての理解を深める	江津市地域包括支援センター
30	島根県	益田市	9月21日	ライトアップ・オレンジリングドレス アップ・ガーデニング	島根県芸術文化センター「グラントワ」のライトアップ	認知症の人と家族の会島根県支部
31	島根県	江津市	9月24日	グッズ・チラシ配布	認知症の理解を深めるためのリーフレット等を街頭で配布	認知症の人と家族の会島根県支部
32	島根県	浜田市	9月25日	RUN伴	石央シネマ倶楽部主催による映画上映会参加 「ぼけますから、よろしく願います。おかえり お母さん」	RUN伴しまね実行委員会（浜田エリア）
33	島根県	安来市	9月26日	相談会・体験会・交流会	認知症家族のつどい	介護保険課地域包括支援センター
34	島根県	松江市	9月30日	認知症カフェ	参加者には認知症の理解を深めるためのリーフレットを配布	認知症の人と家族の会島根県支部（松江地区）
35	島根県	浜田市	9月中	ポスター掲示・懸垂幕・のぼり旗	市庁舎（正面玄関横）へ懸垂幕を掲揚し認知症への理解と周知を図る（掲揚式は9月1日）	浜田市健康医療対策課高齢者福祉係
36	島根県	浜田市	9月中	図書館の活用	浜田市中央図書館にてポスター掲示・パンフレット配布等	認知症疾患医療センター （社会医療法人清和会西川病院）
37	島根県	隠岐の島町	9月中	展示	各種関係機関先で認知症啓発コーナー設置	隠岐の島町保健福祉課 地域包括支援係
38	島根県	雲南市	9月号	広報誌掲載	「市報うんなん」に啓発記事を掲載	雲南市長寿障がい福祉課 保健医療介護連携室
39	島根県	浜田市	9月号	広報誌掲載	「広報はまだ」令和4年9月号にコラムを掲載	浜田市健康医療対策課 高齢者福祉係
40	島根県	吉賀町	9月中旬頃	展示	認知症の理解を深めるための展示コーナーの設置を検討中（吉賀町役場内）	吉賀町保健福祉課
41	島根県	川本町	9月下旬予定	テレビ・ラジオ	町内有線テレビ放送での情報発信	川本町健康福祉課

4 RUN伴しませ

世界アルツハイマーデー 一畑電車 & RUN伴いずも



9月21日は世界アルツハイマーデーです。
この度、一畑電車（株）様のご協力を得て、9月17日（1日限定）で、
電鉄出雲市駅～出雲大社駅間のオレンジカラー車両の広告ジャックが実現！
それにあわせて、両駅の前で認知症の啓発活動することになりました！



オレンジカラーの1000系



車内イメージ

オレンジカラーの一畑電車で出雲大社へ行きませんか？

（詳細）

9月17日（土）	12:00 電鉄出雲市駅前	集合	～啓発活動～
	12:50 電鉄出雲市駅前	出発	
	出雲大社前駅	到着	～啓発活動～
			～出雲大社参拝～
	15:45 出雲大社前駅	出発	
	16:02 電鉄出雲市駅前	到着	（のち解散）

※往復運賃：1,000円

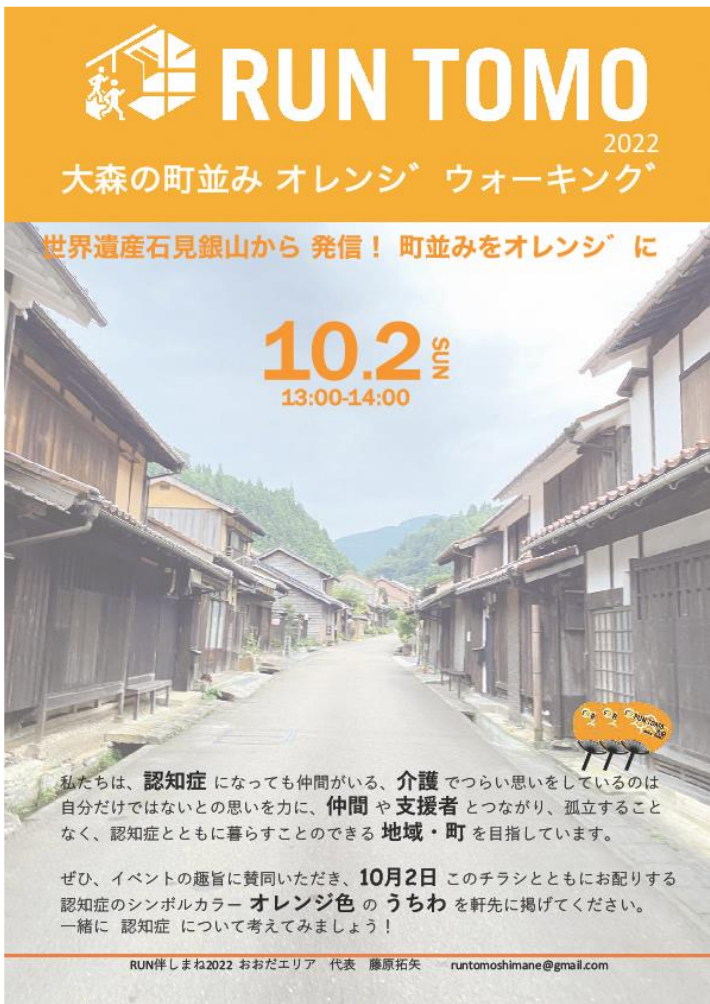
※オレンジ色のシャツを着用してお越し下さい（お持ちでない方は当日お貸しします）

参加申込：TEL（0853-25-0717）

共催：認知症のひとと家族の会島根県支部、RUN伴いずも
協力：一畑電車株式会社



4 RUN伴しまね



RUN TOMO
2022
大森の町並み オレンジ ウォーキング

世界遺産石見銀山から 発信！ 町並みをオレンジ に

10.2 SUN
13:00-14:00

私たちは、**認知症** になっても仲間がいる、**介護** でつらい思いをしているのは自分だけではないとの思いを力に、**仲間** や **支援者** とつながり、孤立することなく、認知症とともに暮らすことのできる **地域・町** を目指しています。

ぜひ、イベントの趣旨に賛同いただき、**10月2日** このチラシとともに配りする認知症のシンボルカラー **オレンジ色** の **うちわ** を軒先に掲げてください。一緒に 認知症 について考えてみましょう！

RUN伴しまね2022 おおだエリア 代表 藤原拓矢 runtomoshimane@gmail.com



5 本人交流会・本人ミーティング

本人が集まり、本人同士で自らの体験や必要なことを話し合い、その内容を発信、施策に反映する機会がある市町村

2

ピアサポーター（※）による本人支援の活動を行っている市町村

※先に認知症の診断を受け、その不安を乗り越え前向きに明るく生きてきて思いを共有できる認知症本人

0

※令和3年度末の状況

資料：厚生労働省「令和3年度及び令和4年度当初認知症総合支援事業等実施状況調べ」

6 認知症に関する意識調査（明治安田生命と島根県との包括連携協定）

目的

県民の認知症に対する意識の現状把握と、それを踏まえた認知施策の検討

時期

令和3年4月1日～令和3年10月31日

調査方法

明治安田生命社員による調査票の持参・回収

調査対象

明治安田生命の顧客及び顧客候補

回答者数

3, 8 4 4 人

調査内容

「認知症に対するイメージ」「認知症の人と接したことがあるか」「認知症になったら、どのようなことを不安に感じると思うか」など6項目。

6 認知症に関する意識調査（明治安田生命と島根県との包括連携協定）

調査結果の概要

- 認知症に対するイメージは、「今まで暮らしてきた地域で生活ができる」と答えた割合は33%に留まった。
- これは、内閣府が平成27年度に実施した「認知症に関する世論調査」における同内容の設問に比べ、約8%低い。
- 70代から90代では、「自分で工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で生活できる」と答えた割合が高くなった。
- 認知症の人と接したことがないと答えた割合は27.7%で上記の内閣府調査と比べ約10%低い（県内では認知症の人と接したことがある人の割合が高い）。

1 認知症カフェ

開設推移

H27:11、H28:18、H29:34、H30:40、R1:50、R2:53、R3:59

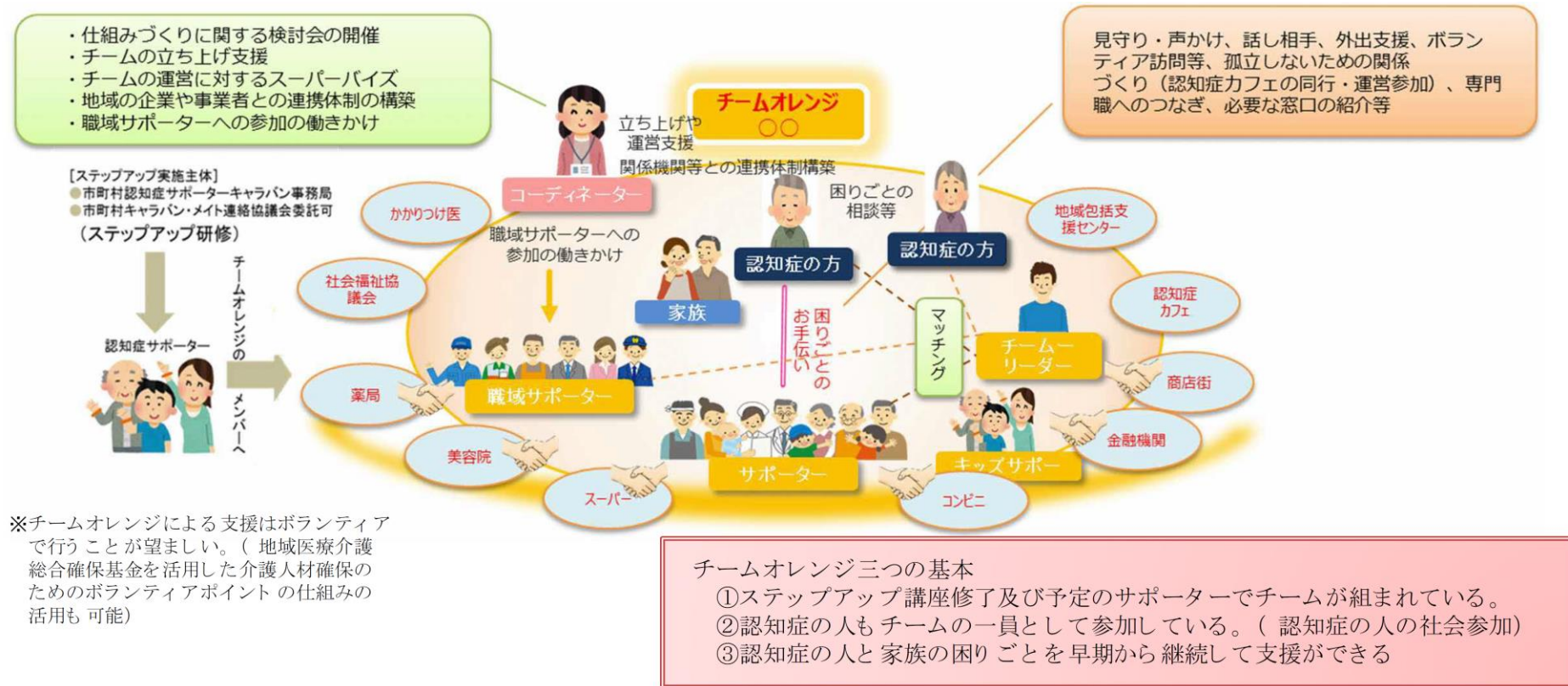
開設 市町村

松江市 (9)	安来市 (4)		
雲南市 (1)	奥出雲町 (1)	飯南町 (3)	
出雲市 (8)			
大田市 (3)	川本町 (1)	美郷町 (1)	邑南町 (3)
浜田市 (4)	江津市 (7)		
益田市 (8)	津和野町 (3)	吉賀町 (1)	
海士町 (1)	隠岐の島町 (1)		

設置主体

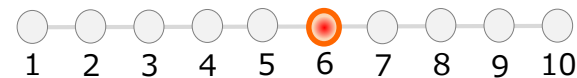
- ・市町村 (1 2)
- ・地域包括支援センター (5)
- ・介護事業者等 (1 0)
- ・社会福祉法人 (6)
- ・N P O (2)
- ・ボランティア (1 6)
- ・認知症の人と家族の会 (4)
- ・その他 (4) 病院、大学、専門学校

2 チームオレンジ



認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備

6 認知症の方を支える地域づくり



2 チームオレンジ

令和2年度実績調査

都道府県	実施 市町村 数	未実施 市町村 数	都道府県	実施 市町村 数	未実施 市町村 数	都道府県	実施 市町村 数	未実施 市町村 数
北海道	14	165	石川県	2	17	岡山県	1	26
青森県	2	38	福井県	0	17	広島県	0	23
岩手県	0	33	山梨県	1	26	山口県	1	18
宮城県	2	33	長野県	4	73	徳島県	3	21
秋田県	1	24	岐阜県	6	36	香川県	2	15
山形県	1	34	静岡県	13	22	愛媛県	0	20
福島県	2	57	愛知県	8	46	高知県	1	33
茨城県	0	44	三重県	2	27	福岡県	3	57
栃木県	8	17	滋賀県	3	16	佐賀県	0	20
群馬県	3	32	京都府	0	26	長崎県	1	20
埼玉県	5	58	大阪府	6	37	熊本県	6	39
千葉県	7	47	兵庫県	3	38	大分県	1	17
東京都	4	58	奈良県	4	35	宮崎県	1	25
神奈川県	5	28	和歌山県	3	27	鹿児島県	1	42
新潟県	3	27	鳥取県	0	19	沖縄県	2	39
富山県	1	14	島根県	2	17	計	138	1,603

都道府県	チーム 数	チーム 員数	都道府県	チーム 数	チーム 員数	都道府県	チーム 数	チーム 員数
北海道	29	299	石川県	20	237	岡山県	1	26
青森県	2	27	福井県	0	0	広島県	0	0
岩手県	0	0	山梨県	1	29	山口県	1	13
宮城県	2	45	長野県	9	196	徳島県	3	63
秋田県	1	60	岐阜県	10	235	香川県	3	28
山形県	1	13	静岡県	32	474	愛媛県	0	0
福島県	2	49	愛知県	9	192	高知県	1	14
茨城県	0	0	三重県	6	53	福岡県	3	69
栃木県	8	182	滋賀県	3	58	佐賀県	0	0
群馬県	3	59	京都府	0	0	長崎県	1	184
埼玉県	9	47	大阪府	6	164	熊本県	14	453
千葉県	35	778	兵庫県	4	110	大分県	1	10
東京都	7	63	奈良県	7	154	宮崎県	1	20
神奈川県	38	527	和歌山県	3	73	鹿児島県	1	41
新潟県	7	66	鳥取県	0	0	沖縄県	2	12
富山県	127	200	島根県	2	24	計	415	5,347

資料：厚生労働省「認知症施策・地域介護推進課実績状況調べ」

2 チームオレンジ

設置
市町村

松江市（1） 安来市（1） 浜田市（2）

取組事例

松江市では、誰もが気軽に参加して「はなしをする」「つながりを作る」「情報交換をする」ことのできる認知症カフェ「のあカフェ」を、飲食店の一角で開催している。

薬剤師や理学療法士等の専門職や認知症サポーター等が参加しており、ステップアップ研修を受講したメンバーによるチームオレンジとしての活動が始まっている。

カフェの運営支援や相談対応をしながら、認知症の人やその家族の話を傾聴し、専門職によるアドバイスなどが実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、オンラインでもカフェを開催し、本人や家族が参加しやすい環境づくりをすることで、ニーズの把握や具体的な支援につなげていくことが進められている。



のあcafe
～和を彩るカフェ～

【のあカフェ】は、誰もが気軽に参加して、「はなしをする」「つながりを作る」「情報交換をする」ことのできる カフェスタイルの交流場 です。

日程 毎月第2・4週末 曜日
時間 14:30～16:30
場所 御華門（松江市浜乃木 6-18-5）
参加費 500 円 / 人（税込）
コーヒー or お茶 + 手作りデザート付き

予約不要
お気軽にお越し下さい
お問合せ先
御華門（みかど）
松江市浜乃木 6-18-5
☎0852-27-4441

～今後のイベント予定～
・健康、お茶相談 ・介護相談 ・健康体操
・栄養相談 ・作品展等

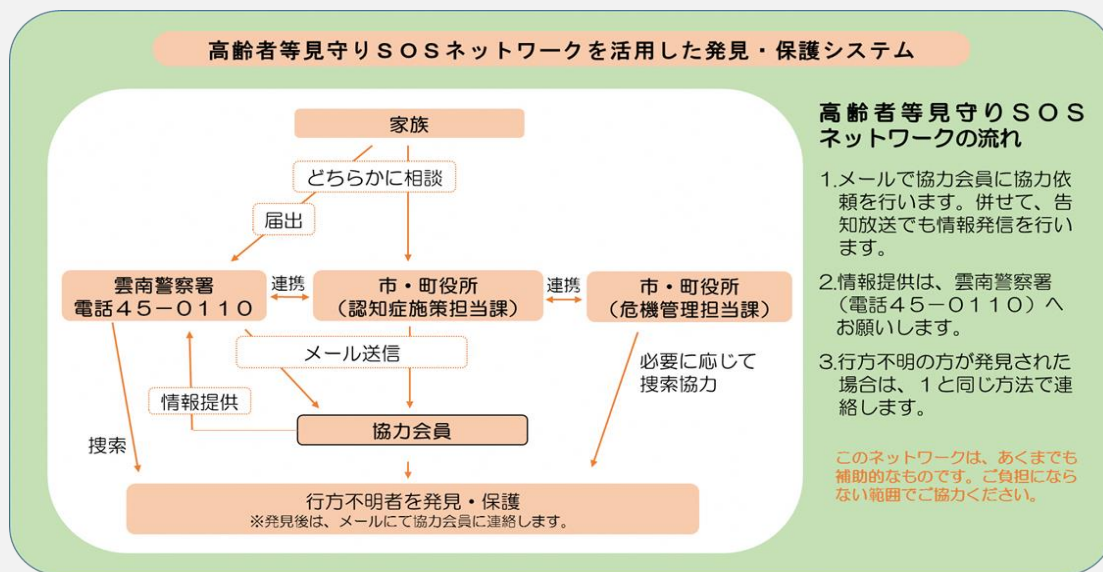
お気軽に紹介して下さい！
認知症の家族や介護者の方へ
認知症の家族や介護者の方へ
認知症の家族や介護者の方へ

3 介護マーク



4 行方不明認知症高齢者の搜索

取組事例



雲南圏域では、認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が所在不明になった場合に、地域の支援を得て早期に発見することができるよう、雲南警察署、雲南市、奥出雲町、飯南町、雲南広域連合等による市町村を超えた見守りネットワークが構築されている。

行方不明者搜索依頼

様式1

行方不明者搜索依頼

下記の方を捜しています。ご協力をお願いいたします。

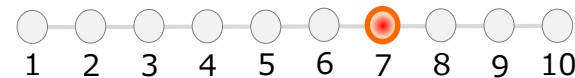
依頼日：平成 年 月 日

氏名(ふりがな)	()	性別	男・女
旧姓(ふりがな)	()		
生年月日(年齢)	年 月 日(歳)		
住所			
発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分頃		
行方不明時の場所及び状況			
身体的特徴	【身長・体重】 【体型】 【髪型、髪の色】 【歯、髭】 【その他】		
服装	【上衣】 【下衣】 【履物】 【帽子】 【眼鏡】 【その他】		
持ち物		家族等の同意	有・無
認知症の有無	有・無・不明	警察への届出	年 月 日 済 警察署
名前・・・ 言える・言えない	住所・・・ 言える・言えない		
特記事項			
情報提供の範囲	県内市町村・全国の都道府県・中国地方の各県		
情報提供機関の範囲	・行政機関のみ(地域包括支援センター含む) ・上記に加えSOSネットワーク加入団体のほか不特定多数の者		

【連絡先】

【電話】	【FAX】

7 認知症についての相談対応



1 しまね認知症コールセンター

事業委託

公益社団法人認知症の人と家族の会島根県支部

相談体制

認知症の人や家族などからの各種相談に対し、
専用電話（5台）により対応

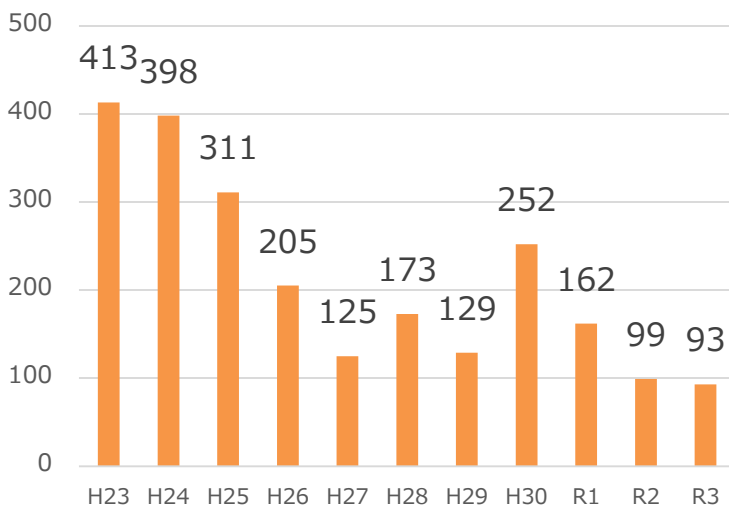
連絡先

電話：0853-22-4105
※固定電話が話し中の場合や個別相談の場合は
携帯電話に転送

相談員

認知症の人と家族の会島根県支部会員

相談件数



認知症の悩みをお聞きします！

1人で悩んでないで ます電話！

認知症介護経験者や、
介護の専門のスタッフが
お話をうかがいます

家族が
もしかすると
認知症かも！？

介護が辛くて/
私の話を聞いて！

同じ悩みを持つ
仲間との交流会に
参加したい

認知症の知識
が欲しい！

しまね認知症コールセンター

☎0853-22-4105

相談受付 月曜日～金曜日 午前10時～午後4時まで
(土日及び年末年始を除く)

○相談は無料です。
※相談内容については秘密を厳守します。ただし、
関係機関に情報提供の場合は相談者の承諾を得ます。
○電話通話料は相談者の負担となります。
○固定電話が話し中の場合、携帯電話へ転送となります。

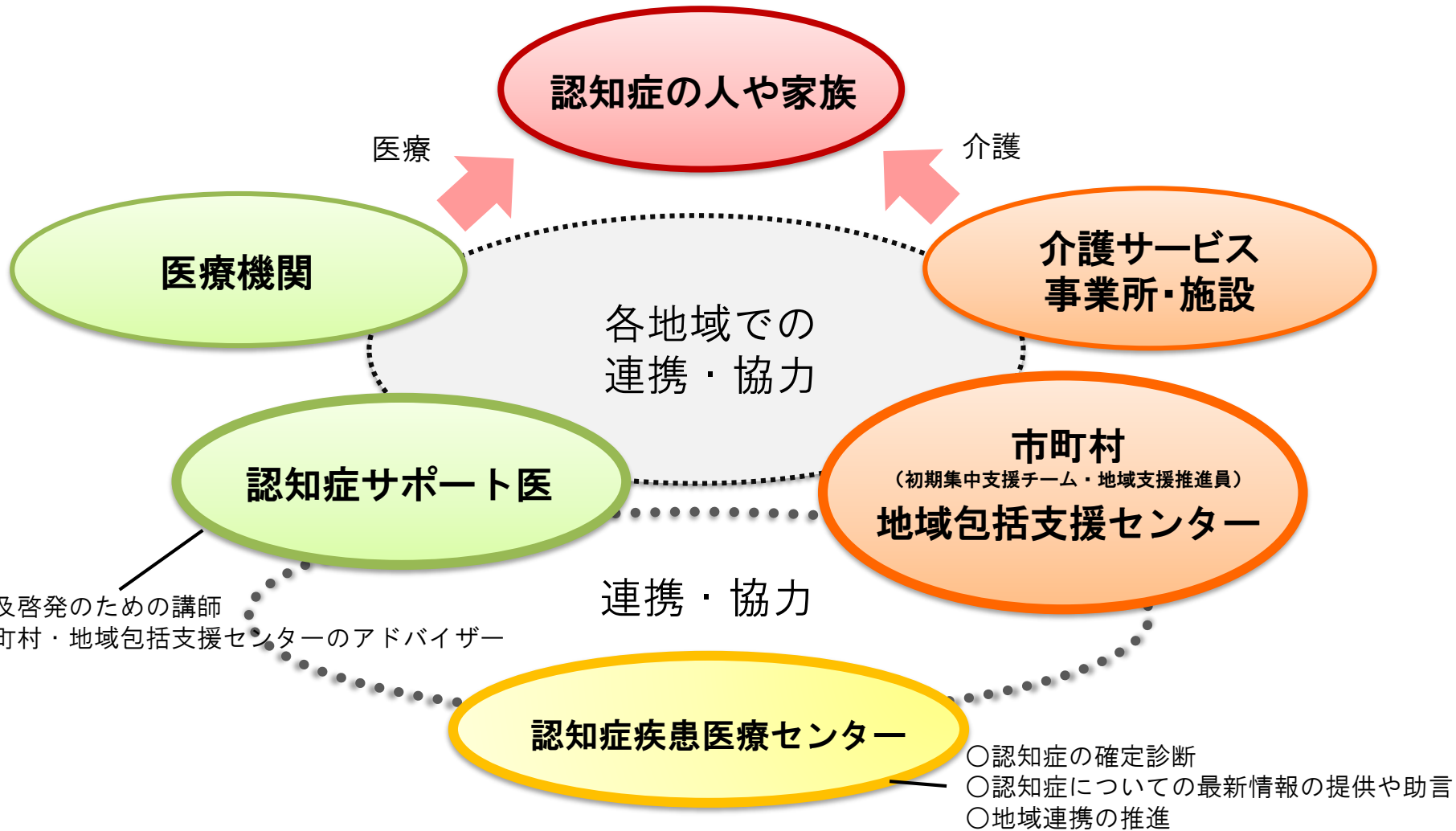
認知症の人と家族の会 島根県支部（コールセンター）
住所：出雲市今市町1213番地 出雲市保健センター内

0853-22-4105



●島根県認知症コールセンター事業は、島根県が認知症の人と家族の会島根県支部に委託して実施しています。

1 医療と介護の連携体制



2 認知症疾患医療センター

- 認知症疾患に関する鑑別診断の実施など、地域での認知症医療提供体制の拠点としての活動を行う事業（H20年～）
- 実施主体：都道府県・指定都市（鑑別診断に係る検査等の総合的評価が可能な医療機関に設置）
- 設置数：全国に488か所（令和3年10月現在：指定予定も含む）

		基幹型	地域型	連携型
設置医療機関		病院（総合病院）	病院（単科精神科病院等）	診療所・ <u>病院</u>
設置数（H29年7月末現在） ※指定予定も含む		17か所	384か所	87か所
基本的活動圏域		都道府県圏域	二次医療圏域	
専門的医療機能	鑑別診断等	認知症の鑑別診断及び専門医療相談		
	人員配置	・専門医（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）	・専門医（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）	・専門医（1名以上） ・看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等（1名以上）
	検査体制 （※他の医療機関との連携確保対応で可）	・CT ・MRI ・SPECT（※）	・CT ・MRI（※） ・SPECT（※）	・CT（※） ・MRI（※） ・SPECT（※）
	BPSD・身体合併症対応	救急医療機関として空床を確保	急性期入院治療を行える医療機関との連携体制を確保	
	医療相談室の設置	必須		-
地域連携機能		・地域への認知症に関する情報発信、普及啓発、地域住民からの相談対応 ・認知症サポート医、かかりつけ医や地域包括支援センター等に対する研修の実施 ・地域での連携体制強化のための「認知症疾患医療連携協議会」の組織化		

2 認知症疾患医療センター

<医療>

<介護>

[基幹型（総合病院）]

専門医療の提供

[地域型
（単科精神科
病院等）]

認知症疾患医療センター

情報セン
ター

専門医療
の提供

地域連携
の強化

連携
担当者の
配置

連携

地域包括
支援
センター

連携

ケアマネジャー
介護職
ホーム
ヘルパー等

介護サービス

- ・特 養
- ・老 健
- ・G H
- ・居 宅

連携

行動・心理症状
（BPSD）により専
門医療が必要な認
知症疾患患者

連携

認知症サポート医

物忘れ外来

精神科外来

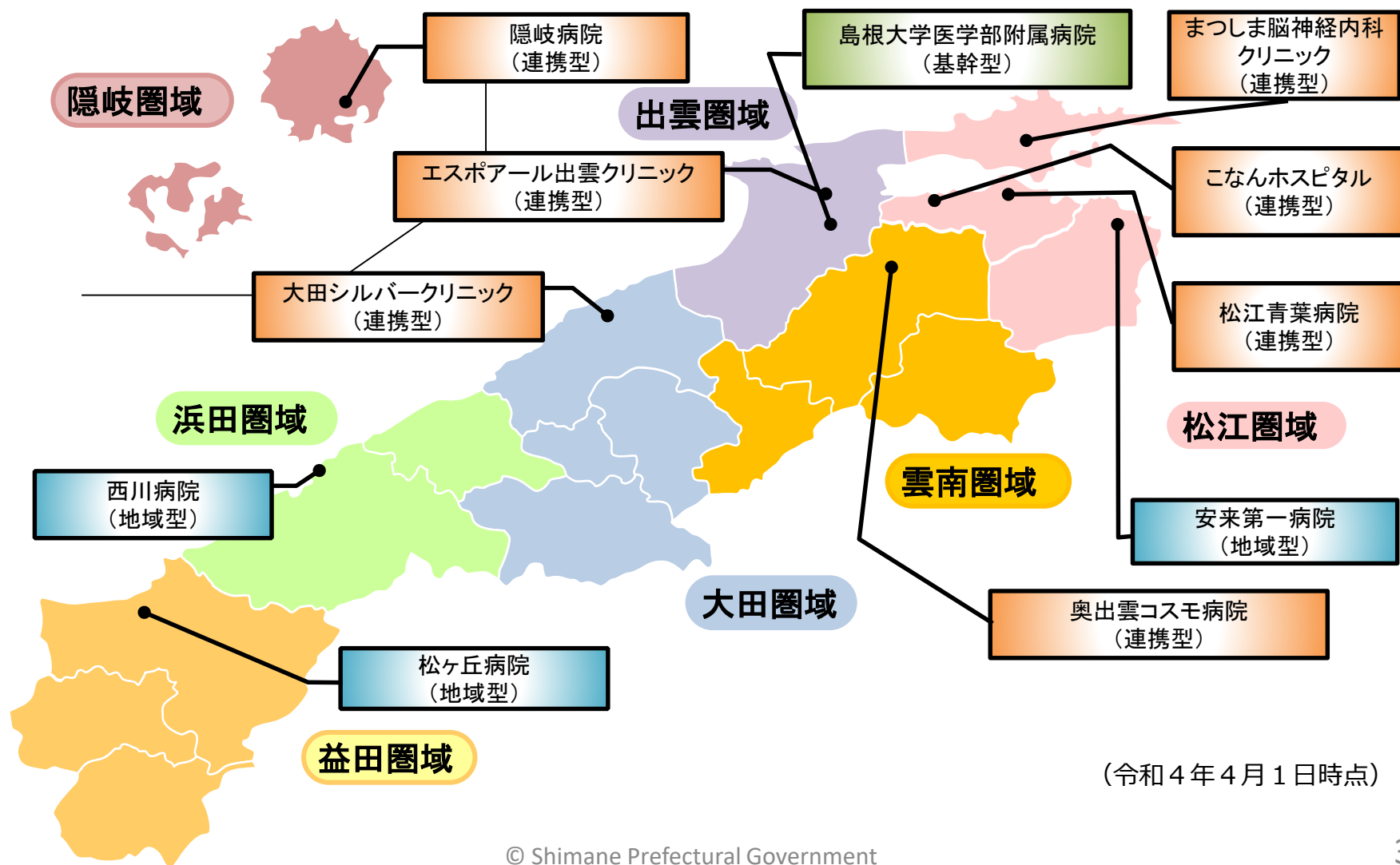
連携

連携

連携

内科医等のいわゆる「かかりつけ医」

2 認知症疾患医療センター



3 認知症サポート医

「認知症サポート医養成研修（国立長寿医療研究センター主催）」を受講した医師

かかりつけ医

- ・ 早期段階での発見・気づき
- ・ 日常的な身体疾患対応、健康管理
- ・ 家族の介護負担、不安への理解
- ・ 地域の認知症介護サービス諸機関との連携

相談



認知症サポート医

- ・ かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役・アドバイザー
- ・ 医師会や地域包括支援センターとの連携づくりへの協力
- ・ 認知症医療に係る正しい知識の普及を推進

助言



3 認知症サポート医

R4. 3月末現在 107名（累計養成数126名）

※ 赤字の医師はR3年度新規養成者

※ 青字の医師はR2年度新規養成者

※ 市町村名は所属医療機関所在地

隠岐の島町(2)
有田茂夫・加藤一朗 〈隠岐病院〉
西ノ島町(1)
福田瑤子 〈隠岐島前病院〉
海士町(2)
木田川利行・前田孝弘〈海士診療所〉



出雲市(18)
高橋幸男 〈エスポアール出雲クリニック〉
深田倍行 〈深田医院〉
土谷治久 〈佐田診療所〉
安部哲史・長濱道治・**長井篤**
〈島根大学医学部附属病院〉
石橋和樹・**小田川誠治**
〈島根県立中央病院〉
白澤 明・**濱田智津子**
〈出雲総合医療センター〉
山本大介 〈出雲特州会病院〉
金森 隆 〈斐川生協病院〉
山崎俊樹 〈あいあいクリニック〉
河野公範 〈海星病院〉
津村弘人 〈つむらファミリークリニック〉
石川厚 〈石川脳神経内科医院〉
豊田元哉 〈とよだ内科頭痛クリニック〉
高尾碧 〈こころの医療センター〉

松江市(27)
櫻井照久・福田賢司・高村睦代・
石川美保 〈こなんホスピタル〉
細田眞司 〈こころの診療所細田クリニック〉
松嶋永治 〈まつしま脳神経内科クリニック〉
妹尾晴夫・柴田昌洋・百瀬勇・宮岡剛・
清水予旨子〈松江青葉病院〉
吉岡太佑 〈吉岡医院〉
杉谷美代子〈いんべ杉谷内科小児科醫院〉
内藤篤 〈松江記念病院〉
萬代恵治 〈松江刑務所〉
松本和也 〈入澤クリニック〉
下山良二・中島健二・古和久典・
深田育代 〈松江医療センター〉
野津立秋 〈野津医院〉
泉 明夫 〈泉胃腸科医院〉
伊達伸也 〈東部島根医療福祉センター〉
坂之上一史・田野俊平 〈鹿島病院〉
岡崎哲也 〈八雲病院〉
戸田稔子 〈松江生協病院〉

益田市(8)
坪内健・藤木僚 〈松ヶ丘病院〉
木谷光博 〈益田赤十字病院〉
金島新一 〈金島胃腸科外科〉
大森治樹 〈石見クリニック〉
篠崎克也 〈さくらクリニック〉
井上貴雄 〈あすかクリニック〉
松本祐二 〈松本医院〉
津和野町(1)
飯島献一 〈津和野共存病院〉
吉賀町(2)
小笠原康二 〈小笠原医院〉
谷浦博之 〈六日市病院〉

浜田市(9)
中村慎一 〈中村医院〉
田中新一 〈心療内科田中クリニック〉
彌重博巳 〈彌重内科眼科医院〉
沖田浩一 〈沖田内科医院〉
松本貴久 〈西川病院〉
北條宣政・井上幸哉
〈浜田医療センター〉
笠田守 〈笠田医院〉
小池昌弘 〈小池医院〉
江津市(6)
中澤芳夫・関本裕・堀江裕
〈済生会江津総合病院〉
山崎一成 〈山崎病院〉
花田有二 〈花田医院〉
花田昌也 〈花田クリニック〉

大田市(5)
岡田和悟 〈大田シルバークリニック〉
梅枝伸行 〈うめがえ内科クリニック〉
安田英彰 〈石東病院〉
山形真吾 〈大田総合医育成センター〉
福田理子 〈大田市立病院〉
川本町(3)
加藤節司・山口拓也・**上杉文彦**
〈加藤病院〉
美郷町(1)
秦憲明 〈秦クリニック〉
邑南町(4)
河野圭一 〈河野医院〉
高橋亮吏 〈星ヶ丘クリニック〉
周藤由紀美〈三笠記念クリニック〉
酒井和久 〈邑智病院〉

安来市(12)
杉原徳郎 〈杉原クリニック〉
野坂啓介 〈野坂医院〉
片山征爾・竹下久由・ト藏浩和・
鎌田佳代子・江原真理子・小村文明・
角曉美・新宮左知子・**河崎雄司**
〈安来第一病院〉
新田則之 〈介護老人保健施設昌寿苑〉

雲南市(3)
今岡大輔 〈奥出雲コスモ病院〉
前木奈津美 〈雲南市立病院〉
小黒浩明 〈平成記念病院〉
奥出雲町(2)
山根冠児 〈永生クリニック〉
遠藤健史 〈奥出雲町立病院〉
飯南町(1)
松本賢治 〈飯南病院〉

4 医療従事者の認知症対応力向上

研修 対象

- ・ かかりつけ医
- ・ 歯科医師
- ・ 薬剤師
- ・ 看護職員
- ・ 病院勤務の医療従事者

研修 内容

認知症の病態、治療・ケア、早期発見・早期対応の重要性、認知症の人と家族の生活を支援する知識と方法、専門機関や関係機関等との連携 等

4 医療従事者の認知症対応力向上

認知症施策推進大綱での数値目標（認知症対応力向上研修修了者数）

項目	進捗状況 (H29年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (R7年度末)	島根県 (R3年度末)
かかりつけ医	5.8万人	7.5万人	9万人	186人
歯科医師	0.8万人	2.2万人	4万人	151人
薬剤師	1.7万人	4万人	6万人	541人
看護職員	1.0万人	2.2万人	4万人	276人
病院勤務の 医療従事者	12.2万人	22万人	30万人	767人

5 認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチーム

平成30年度から全市町村に設置

認知症初期集中支援チームのメンバー



医療と介護の専門職

（歯科医師、保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士等）



チームに協力する医師

（認知症サポート医）

対象者

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ◆ 医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
 - （ア）認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - （イ）継続的な医療サービスを受けていない人
 - （ウ）適切な介護保険サービスに結び付いていない人
 - （エ）診断されたが介護サービスが中断している人
- ◆ 医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している

6 認知症地域支援推進員

市町村

協働

認知症地域支援推進員

平成30年度から全市町村に設置

医療・介護等の支援
ネットワーク構築

- 認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスを受けられるよう関係機関との連携体制の構築
- 市町村等との協力による、認知症ケアパス（状態に応じた適切な医療や介護サービス等の提供の流れ）の作成・普及 等

認知症対応力向上の
ための支援

※関係機関等と連携し、以下の事業の企画・調整を行う

- 認知症疾患医療センターの専門医等による病院・施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- 介護保険施設等の相談員による、在宅で生活する認知症の人や家族に対する効果的な介護方法などの専門的な相談支援
- 「認知症カフェ」等の開設
- 認知症ライフサポート研修など認知症多職種協働研修の実施 等

相談支援・
支援体制構築

- 認知症の人や家族等への相談支援
- 「認知症初期集中支援チーム」との連携等による必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整

【推進員の要件】

- ① 認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有する医師・歯科医師、保健師、看護師、PT、歯科衛生士、PSW、社会福祉士、介護福祉士
- ② ①以外で認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有すると市町村が認めた者

7 認知症ケアパス

(例)



- ・ 18市町で作成済み
- ・ 認知症の人や家族、医療・介護関係者などでの共有、活用が今後の課題

1 認知症介護実践者等養成事業

認知症介護実践研修

指導者研修

認知症介護実践研修・基礎研修の企画立案、
介護の質の改善に対する指導者役

実践リーダー研修

事業所内のケアチームにおける
指導者役の育成

実践者研修

認知症介護の理念、知識及び技術の習得

基礎研修

新任の介護職員等が認知症介護の最低限必要な知識・技術を学ぶ

ステップアップ

2 認知症施策推進大綱での数値目標

認知症施策推進大綱での数値目標（認知症介護従事者向け研修修了者数）

項目	進捗状況 (H29年度末)	目標 (R2年度末)	島根県 (R 3 年度末)
認知症介護 指導者養成研修	2.3千人	2.8千人	27人
認知症介護 実践リーダー研修	4.1万人	5万人	763人
認知症介護 実践者研修	26.5万人	30万人	4,325人
認知症介護 基礎研修	-	認知症介護に携わる可能性のある全職員の受講を目指す	932人

1 若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症支援コーディネーター

- ・平成30年4月～開始
- ・コーディネーター 3名
- ・委託先：認知症の人と家族の会島根県支部

役割

- ・本人・家族、支援関係機関、企業等からの相談対応
- ・必要な支援制度やサービス等の紹介サービス提供関係機関等との情報共有、支援内容の連絡調整
- ・本人が気軽に利用できる通いの場、集いの場づくり

2021年4月 島根県委託事業

若年性認知症相談窓口のお知らせ

65歳未満で発症する認知症を若年性認知症と言います



こんなときは 若年性認知症支援コーディネーターにご相談ください

症状 ● 忘れることが多くなった ● 仕事でミスや失敗することが目立ってきた ● なんだかいつもの自分と違う気がする	仕事・居場所 ● 会社を退職して収入がない、不安だ ● 今後も働き続けたい ● 行く場所がなくなると閉じこもり気味である
受診・診断 ● 専門医療機関を受診したい ● 受診をさせたいが、本人が拒否をしている ● 診断がついたが、会社に話ができない	制度・サービス情報 ● 利用できる制度が分からない ● 地域で利用できるサービスが分からない ● 情報が見つからない
接し方 ● 社員が若年性認知症の診断を受けたが、どう支援したらよいかわからない ● 家族としてどう接してよいかわからない	

しまね若年性認知症相談支援センター
 ☎ 電話相談 月～金 10:00～16:00 TEL 0853-25-7033
祝日、年末年始及びお盆は除く

コーディネートの主な内容

医療機関 主治医と連携し日常生活について助言。また、専門医療機関や認知症サポート医などの情報を提供します。	社会保障 (経済的な援助) 医療費助成や障害年金など各種社会保障の情報提供および手続きを支援します。	サービス受給 地域で利用できるサービス(社会資源)の情報提供、利用の手続きについて助言します。
権利擁護 財産管理や福祉・介護サービス等の手続きの相談に応じます。		就労支援 職場との調整や再就職について助言します。

受託団体 公益社団法人 認知症の人と家族の会 島根県支部

2 若年性認知症支援ネットワーク構築事業

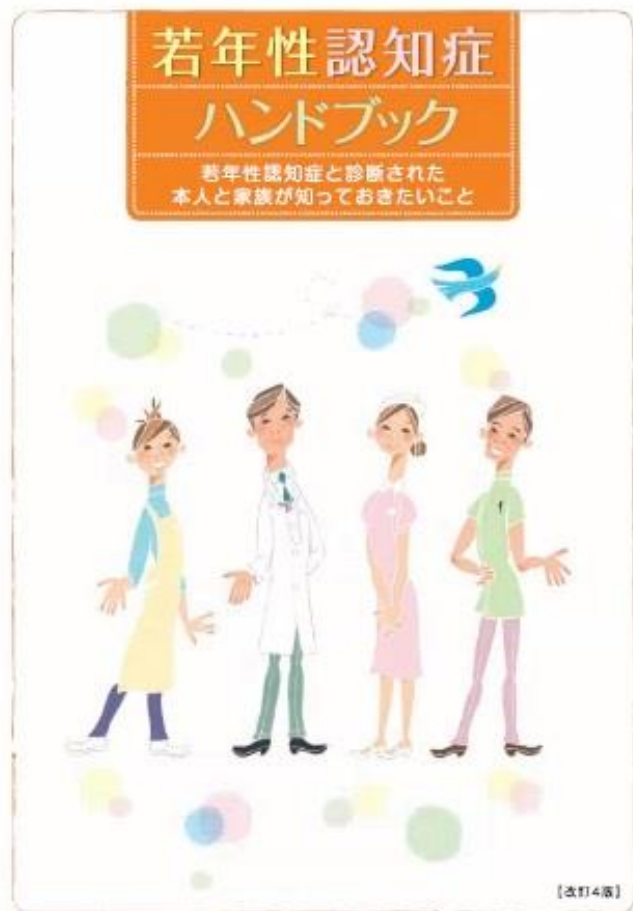
若年性認知症自立支援ネットワーク会議

【ネットワーク会議構成機関】

- ・ 若年性認知症支援コーディネーター
- ・ 認知症サポート医
- ・ 高次脳機能障がい地域支援拠点
- ・ 認知症疾患医療センター
- ・ 精神保健福祉士会
- ・ 地域両立支援推進チーム
- ・ 両立支援コーディネーター
- ・ 島根県経営者協会
- ・ 島根労働局
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 市町村
- ・ 島根県



3 若年性認知症の人向けガイドブック



認知症介護研究・研修大府センター作成

島根県作成

4 若年性認知症実態調査及び支援ニーズの把握

県内の若年性認知症の実態調査

●目的

- (1) 若年性認知症の有病者数、生活実態を明らかにする
- (2) 医療機関等の関係機関に対して、若年性認知症支援コーディネーター等の支援施策について周知
- (3) 調査実施および結果について広報し、若年性認知症に関する社会的な認知度を向上させる

●調査対象： 2,957 か所

- (1) 医療機関（病院、一般診療所、歯科診療所） 901 か所
- (2) 介護保険サービス事業所 1,515 か所
- (3) 障がい福祉サービス事業所 541 か所

●調査スケジュール

- 一次調査：令和3年5～6月
- 二次調査：令和3年7～9月
- 調査結果公表：令和3年11～12月

県内の若年性認知症の実態調査 結果概要

- 令和3年1月1日を調査基準日とする島根県の若年性認知症の有病者数は286人（65歳未満146人、65歳以上140人）であった。
- 原因疾患別では、アルツハイマー型認知症（5割）、血管性認知症（2割弱）、前頭側頭型認知症（1割弱）の順で多かった。
- 発症時に仕事に就いていた若年性認知症の人は全体では5割、65歳未満では6割であった。しかし、そのうち5割の人が退職し、2割弱の人が解雇され、発症前と同じ職場で働いている人は1割だった。
- 最初に症状に気づいた平均年齢は59.5歳であった。
- 最初に気づいた人は「配偶者：5割」，「子：2割」，「本人：2割」が多かった。
- 最初に気づいた症状としては「もの忘れが多くなった：6割」が最も多いが、「職場や家事などでミスが多くなった：3割強」、「言葉がうまく出なくなった：2割」も一定範囲で認められた。

県内の若年性認知症の実態調査 結果概要

- 65歳未満の人の3割は「高齢者が多いデイサービス等に行きたくない」と感じている一方で、全体の4割が「外出や趣味活動を楽しめる通いの場」が必要と回答している。
- 「『対応に慣れていない』と断られることが多い」「受診・診断につながっても適当なサービスがない、要介護認定に係る状態でない方もおられる」といった回答があった。
- 65歳未満の人について若年性認知症の7割弱が発症を機に「収入が減った」、3割弱の人が「家計が苦しい」と回答している。
- いつも必要としている情報について、65歳未満の若年性認知症の人の4割弱が「経済的支援に関する情報」と回答している。一方で、8割が「障害年金」を受給しておらず、5割が「自立支援医療」を利用していなかった。
- 家族以外で最初に相談したところとしては、「医療機関」が4割で最も多く、「地域包括支援センター」「友人・知人」が次いだ。

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ

認知症とともに生きる希望宣言

- 1**
自分自身がとらわれている常識の殻を破り、
前を向いて生きていきます。
- 2**
自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、
社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3**
私たち本人同士が、出会い、つながり、
生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4**
自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、
身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
- 5**
認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて